

平成二十二年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成二十二年十一月一日～平成二十三年一月末
投句数 一、八八七句

特選三句

天

「花鳥諷詠」虚子の直筆冬ぬくし

東京都多摩市 下村美智子

地

美しき三の鳥居や初詣

神奈川県横浜市青葉区 山下省三

人

中吉とほどよき出足初みくじ

神奈川県鎌倉市 齊藤マサ子

入選句

一般の部

文豪のみ墓に散るや冬紅葉

神奈川県鎌倉市

横山武子

穏やかに日の射す谷戸や今朝の冬

神奈川県逗子市

梅木香代子

冬紅葉いなせな古都の人力車

神奈川県三浦郡

熊谷郁子

裏山は北鎌倉へ落葉踏む

神奈川県横浜市栄区

天野博

老いの背に小春がそつと寄り添ひぬ

千葉県千葉市

新井明彦

文学館より鎌倉の冬の海

埼玉県春日部市

下坂青江

江ノ電を待つつかのまの日向ぼこ

千葉県流山市

牧水元喜

江ノ電のいく曲がりして小春かな

北海道樺戸郡

江上昌枝

一茎の水仙ありてこころ満つ

千葉県船橋市

前原慶輔

小春日や大仏仰ぐ車椅子

神奈川県平塚市

小野寺信雄

寒梅や荏柄天神絵馬に満つ

東京都大田区

山田隆紀

立冬の暮れるに惜しき日和かな

東京都杉並区

稲垣克巳

収穫を終へし大地や冬の虹

東京都練馬区

勝田剛史

除夜の鐘大仏様も耳をたて

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

星一つ寒灯ひとつ谷戸眠る

神奈川県鎌倉市

金井千恵子

鎌倉の恵方道とす段葛

東京都町田市

竹内弘

宗家まづ鎬矢放つ弓始

埼玉県狭山市

古谷多賀子

水仙や箒目うすき極楽寺

神奈川県横浜市旭区

佐藤徹

蕎麦啜る音に重なる除夜の鐘

神奈川県藤沢市

近藤拓

枯山に五重の塔の浮き出でし

神奈川県鎌倉市

高橋千鶴

(順不同)

入選句

子どもの部

頼朝もきつと見たろう冬紅葉

神奈川県横須賀市

中島千尋

長谷寺で冬を感じた海の色

神奈川県平塚市

石田桜

鎌倉のとてもきれいな冬もみじ

神奈川県横浜市都筑区

藤川紗都

かまくらの冬暖かきすばらしい

栃木県足利市

塚越一稀

だいぶつがいっそうはえるふゆもみじ

東京都目黒区

岡山有衣

大仏は木々を見ながら春をまつ

埼玉県鴻巣市

須崎香

お年玉夢と希望がつまってる

埼玉県さいたま市

山野みなみ

大仏にはえるお寺の冬紅葉

埼玉県さいたま市

高橋由里

冬紅葉鎌倉に来てよかったな

埼玉県さいたま市

西林咲

枯葉ふみ目指すは鎌倉大仏だ

埼玉県さいたま市

茅野宏志郎

(順不同)